徳　島　県

埋蔵文化財センター年報

Vol.26　2014 年度

2015

公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター

新居見遺跡　室町時代屋敷地（北から）

黒谷川郡頭遺跡　溝内遺物出土状況

はじめに

本書は，平成 26 年度に公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

徳島県から委託を受け，発掘調査・出土品整理・普及事業などを実施し，大きな成果を上げることができました。

発掘調査では，国交省関連の新直轄・横断自動車道事業と河川改修事業，農政局の農地防災事業，県の道路改築事業等に伴って５遺跡の発掘調査を実施しました。

出土品整理では，６遺跡の作業を行いました。大松遺跡の整理と報告書の刊行，川西遺跡・深瀬遺跡・徳島城下町跡・清成遺跡・拝東遺跡の整理を行いました。

普及では，速報展「2014 発掘とくしま」とその関連行事を行ったほか，昨年度に引き続き，市町村の職員に対する埋蔵文化財の専門技能習得研修や各種の研修を受け入れました。

県立埋蔵文化財総合センターの指定管理者としては，今期最終の３年目を迎えましたが，引き続き適正な施設管理・運営につとめました。自主事業では，新たな工夫をこらした各種体験メニューのほか，企画展や連続講座につきましても引き続き充実に努めました。また，ボランテイア活動につきましては，３つのプロジェクトに所属しての活動が積極的に行われており，その支援を継続的に行いました。

その他，今年度は，県による「東阿波文化体験コンソーシアム」事業にも参画し，周辺の文化・教育施設等との連携や近畿圏への広報にも務めました。

今後とも，発掘調査や出土品整理，埋蔵文化財の保存と活用に積極的に取り組むとともに，県民の皆様に親しみやすい埋蔵文化財の公開活用を目指してまいりますので，より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
理事長　福家清司

目　　次

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要…… 3
Ⅰ　平成 26 年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織 …… 5
Ⅱ　平成 26 年度 事業概要 …… 6
Ⅲ　調査事業報告…… 9
調査事業一覧……10
田浦遺跡……11
新居見遺跡 ……12
深瀬遺跡……13
黒谷川郡頭遺跡 ……14
川原田遺跡 ……15
Ⅳ　整理事業報告……16
Ⅴ　普及事業報告
1　管理運営業務……17
2　徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務……17
3　『徳島の古　再発見事業』の実施……22
4　その他の普及事業 ……23

例　言

1　本書は公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 26 年度事業をまとめた年報である。

2　Ⅲ調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行 1 ／ 50,000 地形図を転載したものであり，各図に図幅名を記した。

3　Ⅲ調査事業報告，Ⅳ整理事業報告，Ⅴ普及事業の概要は各担当者が執筆し，その責を文末に記した。また，全体の編集については氏家が行った。

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

1　設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査・研究に関する事業を行い，文化財保護意識の啓発普及を図り，もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2　設立年月日

平成元年 4 月 1 日（平成 22 年 4 月 1 日公益財団法人移行）

3　事業内容

⑴埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行う事業
⑵出土した文化財の整理及び保存を行う事業
⑶埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発普及に関する事業
⑷徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営に関する事業
⑸その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4　資産及び会計

⑴資産構成　財団設立当初の財産，寄附金品，事業収入，資産収入，その他の収入
⑵資産種別　基本財産，運用財産
⑶事業年度　毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
⑷基本財産　10,000,000 円
⑸決 算 額　326,941,160 円（平成 26 年度事業収入）

5　評議員

⑴評 議 員　5 名（定数 3 名以上 5 名以内）
⑵任　　期　4 年
⑶評議員会
①権限　ア　評議員，理事及び監事の選任及び解任
イ　貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれら附属明細書の承認
ウ　定款の変更等
②開催　定時評議員会（年 1 回開催），臨時評議員会

6　役員

⑴理　事　9 名（定数 3 名以上 10 名以内）
理事のうち 1 名を理事長，1 名を副理事長，1 名を専務理事，1 名を常務理事とする。
⑵監　事　2 名（定数 2 名以内）
⑶任　期　2 年
⑷理事会
①権限　ア　法人の業務執行の決定
イ　理事の職務の執行の監督
ウ　理事長，副理事長，専務理事及び常務理事の選定及び解職
②開催　通常理事会（年 2 回開催），臨時理事会

7　主たる事務所

⑴徳島県立埋蔵文化財総合センター内

①所 在 地　　徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2

②敷地面積　　16,093㎡

③建　　物　　鉄筋コンクリート造 2 階建（一部鉄骨造）255,405㎡

事務所，研究員室，展示室，図書資料室，情報処理室，分析室，機材保管室，整理復元室，写真撮影室，木器，鉄器処理室等

8　事務局職員（平成 26 年 4 月 1 日現在）

⑴常勤職員　　21 名

内　訳　　派遣職員等 4 名，財団職員 12 名，嘱託職員 3 名，研究補助員 2 名

⑵非常勤職員　　14 名

内　訳　　調査補助員 4 名，整理作業員 10 名

Ⅰ 平成 26 年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織

平成 26 年 4 月 1 日現在

1 評議員・役員

評 議 員	天羽　利夫	鳥居龍蔵を語る会代表
	木原　克司	鳴門教育大学大学院名誉教授
	村澤　普恵	徳島大学国際コーディネーター
	仁義　知得	元県立美術館長
	伊丹　康裕	元県中央児童相談所長
理 事 長	福家　清司	所長
副理事長	佐野　義行	県教育委員会教育長
専務理事	菅原　康夫	事務局長
理　　事	真鍋　俊照	四国大学教授・大日寺住職
	佐々木清克	元県立文書館長
	両角　芳郎	元県立博物館長
	吉田　一紀	元県教育委員会文化財課長
	竹原　紀幸	元県教育委員会教育文化政策課長
	結城　孝典	県教育委員会教育文化政策課長
監　　事	長地　孝夫	公認会計士
	佐々木　尊	県教育委員会生涯学習政策課長

2 職　　員

所　　長（理 事 長）　福家　清司
事 務 局 長（専務理事）　菅原　康夫

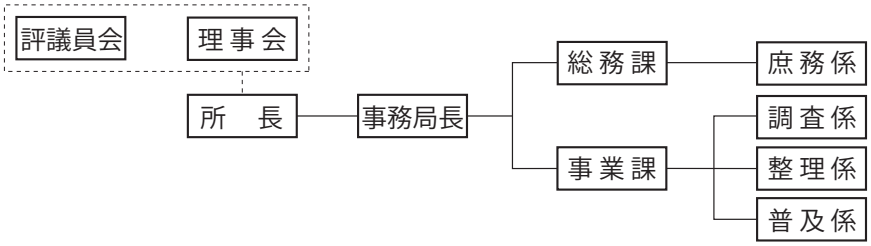
○総　務　課

課　　長	漆川　明彦
庶務係	
庶 務 係 長	大橋　育順
主 任 主 事	妹尾　　悟
事務嘱託員	濵　佳緒里
〃	細田　愛美

○事　業　課

課　　長	藤川　智之
担 当 課 長	矢野　　修
調　査　係	
専門研究員	栗林　誠治
主任研究員	島田　豊彰
研　究　員	岡田　圭司（H26.10.1 付）
	林　　愛子
研究補助員	山下　智美，市村　　恵
整　理　係	
専門研究員	氏家　敏之，原　　芳伸
	近藤　　玲，田川　　憲
	大北　和美
普　及　係	
専門研究員	植地　岳彦
事務嘱託員	桐山　美穂

3 組　織　図



Ⅱ 平成 26 年度事業概要

1　理事会等の開催状況について

⑴ 第 17 回 書面理事会

開催日　　平成 26 年 4 月 1 日（火）

議　案　　理事及び監事の選任について

⑵ 第 8 回 書面評議員会

開催日　　平成 26 年 4 月 1 日（火）

議　案　　理事及び監事の選任について

⑶ 第 18 回 書面理事会

開催日　　平成 26 年 4 月 1 日（火）

議　案　　副理事長の選定について

⑷ 第 19 回 通常理事会

開催日　　平成 26 年 5 月 27 日（火）

議　案　　平成 25 年度事業報告について

平成 25 年度事業収支決算について

理事及び監事の選任について

⑸ 第 9 回 定時評議員会

開催日　　平成 26 年 6 月 10 日（火）

議　案　　平成 25 年度事業報告について

平成 25 年度事業収支決算について

理事，監事及び評議員の選任について

⑹ 第 20 回 書面理事会

開催日　　平成 26 年 6 月 10 日（火）

議　案　　理事長，副理事長及び専務理事の選定について

⑺ 第 21 回 通常理事会

開催日　　平成 27 年 3 月 26 日（木）

議　案　　平成 26 年度事業計画の変更について

平成 26 年度事業収支予算の補正について

平成 27 年度事業計画について

平成 27 年度事業収支予算について

職員給与規則等の一部改正について

2　事業の実施状況について

⑴ 埋蔵文化財発掘調査業務

県から委託を受けて，次の 4 事業に関連する 5 遺跡，表面積 5,451㎡，のべ 11,286㎡の発掘調査業務を行った。

①四国横断自動車道（阿南～徳島東）（田浦地区）関連埋蔵文化財発掘調査（田浦遺跡）

遺跡名　　田浦遺跡　　調査面積　　605㎡（のべ 1,210㎡）

②四国横断自動車道（阿南～徳島東）（新居見地区）関連埋蔵文化財発掘調査（新居見遺跡）

遺跡名　新居見遺跡　調査面積　3,051㎡（のべ 3,051㎡）

③平成 26 年度那賀川河川改修事業（深瀬堤防）に伴う埋蔵文化財発掘調査業務

遺跡名　深瀬遺跡　調査面積　60㎡（のべ 120㎡）

④平成 26 年度吉野川下流域農地防災事業大寺工区埋蔵文化財発掘調査委託（その５）業務

遺跡名　黒谷川郡頭遺跡　調査面積　35㎡（のべ 105㎡）

⑤平成 26 年度道路改築事業（徳島環状線国府・藍住工区）埋蔵文化財発掘調査委託業務

遺跡名　川原田遺跡　調査面積　1,700㎡（のべ 6,800㎡）

⑵ 埋蔵文化財出土品整理業務

県から委託を受けて，次の 6 事業に関連する 6 遺跡の出土品整理を行い，大松遺跡では報告書の刊行を行った。

①一般国道 192 号徳島南環状道路（川西地区）関連埋蔵文化財整理業務（川西遺跡）

遺跡名　川西遺跡　整理箱数　140 箱

②平成 26 年度那賀川河川改修事業（深瀬堤防）に伴う埋蔵文化財発掘調査業務（整理業務）

遺跡名　深瀬遺跡　整理箱数　117 箱

③平成 26 年度徳島地家簡裁庁舎敷地埋蔵文化財出土品整理業務

遺跡名　徳島城下町跡徳島町 1 丁目地点　整理箱数　222 箱

④平成 26 年度四国横断自動車道（徳島～鳴門）関連埋蔵文化財整理業務

遺跡名　大松遺跡　整理箱数　58 箱　報告書刊行　300 部

⑤平成 26 年度徳島県立農林水産総合技術支援センター整備運営事業に係る埋蔵文化財整理業務

遺跡名　清成遺跡　整理箱数　210 箱

⑥平成 26 年度緊急地方道路整備事業（鳴門池田線）関連埋蔵文化財整理業務

遺跡名　拝東遺跡　整理箱数　23 箱

⑶ 平成 26 年度徳島県立埋蔵文化財総合センター収蔵庫等管理業務

県立埋蔵文化財総合センターに収蔵されている埋蔵文化財の管理と普及に関する業務を実施した。

⑷ 遺物保存処理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおける収蔵品などの検索システムの構築，遺物保存処理等の業務を実施した。

⑸ 阿波遍路道がつなぐ地域文化財総合活用事業「新発見！発掘とくしま」実施業務

埋蔵文化財発掘調査の成果を広く還元するために，埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」及び関連行事を実施した。

⑹ 埋蔵文化財発掘調査等技能習得研修業務

埋蔵文化財専門職員未採用市町村の職員を対象に埋蔵文化財発掘調査等の実地研修を実施した。

⑺ 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として，適切な管理運営業務を行った。

3 平成 26 年度収支決算

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 26 年度の収支決算等は次のとおりである。

⑴ 収入の部　（単位：円）

科　　目	平成 25 年度	平成 26 年度	比較増減額	備　　考
1　基本財産運用収入	30,003	30,003	0	
2　事　業　収　入	399,380,000	326,941,160	△ 72,438,840	
3　特定資産運用収入	13,027	7,562	△ 5,465	
4　雑　　収　　入	478,770	459,970	△ 18,800	
5　繰　　越　　金	3,030,837	3,030,837	0	
合　　計	402,932,637	330,469,532	△ 72,463,105	

⑵ 支出の部　（単位：円）

科　　目	平成 25 年度	平成 26 年度	比較増減額	備　　考
1　事　業　費	359,426,798	285,532,842	△ 73,893,956	
2　管　理　費	40,475,002	41,905,853	1,430,851	
合　　計	399,901,800	327,438,695	△ 72,463,105	

⑶ 平成 26 年度収支差額

収入額合計	330,469,532 円
支出額合計	327,438,695 円
次期繰越額	3,030,837 円

⑷ 事業量の推移

年　度	発掘面積（㎡）	整理コンテナ数（箱）	総事業費（円）
平成元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	―	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	466,667,478
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,271,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,772,501,177
15	73,738	2,817	1,517,108,520
16	27,328	2,803	963,345,800
17	24,596	2,800	942,687,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	28,711	2,940	879,415,900
20	21,365	700	467,417,000
21	22,680	480	465,879,000
22	22,504	420	379,320,800
23	28,284	140	402,160,600
24	26,264	280	451,607,000
25	22,403	525	399,380,000
26	11,286	770	326,941,160

Ⅲ 調査事業報告

県からの委託を受けて次の 4 事業に関連する 5 遺跡，表面積 5,451㎡，のべ 11,286㎡の発掘調査業務を行った。

調査対象地となったのは，徳島市・阿南市・小松島市・板野町である。

小松島市域で継続的に実施していた四国横断自動車道（阿南～徳島東）関係の新居見遺跡・田浦遺跡の発掘調査は一部を除きほぼ完了した。

新居見遺跡は平成 21 年度に発掘調査が開始され，当初，中世の遺構の広がりを想定していたが，田野山地の北麓において縄文時代・弥生時代・古墳時代・平安時代の各遺構面が確認され，神田瀬川に近い北寄りの地点では中世の複数年代に亘る遺構が確認された。縄文時代の遺構は限られていたが，県内で初めてとなる土偶が出土した。下半身部分のみの出土であったが，隣接地の小松島市教委の調査により土偶が出土し，胎土の類似から同一個体の可能性が指摘される。意図的な破砕による分散の可能性がある。古墳時代では，横穴式石室や木棺墓が検出された。年代は 5 世紀～ 7 世紀に及ぶ。小形の埋葬施設が継続的に築造されており，弁慶の岩屋古墳などの盟主墳との関係が注目される。また，中世では，15 ～ 16 世紀の短冊形で連続する屋敷地が検出された。瀬戸焼の茶入れなど，同時期の屋敷地としては小規模であるにも関わらず豊かな出土品が目を引く。

田浦遺跡では平成 23 年度から調査が行われ，弥生時代から鎌倉時代にかけての多数の遺構・遺物が確認された。弥生時代には遺構の確認はないが，摩滅の少ない土器から近隣に未知の大規模な集落の存在が想定される。古墳時代では調査地に隣接する子安観音塚古墳・お子守塚古墳に由来する埴輪が多く出土した。大型の円筒埴輪も含まれ，2 基の古墳が対岸に築かれた渋野丸山古墳に続く首長墓であることを改めて示した。鎌倉時代では，北寄りの妙蓮地区において多数の掘立柱建物を含む遺構が確認された。建物群に隣接して井戸が 4 基築かれている。出土遺物がやや少なくその評価付けは困難であるが，本報告作成段階で解明が求められる。

川原田遺跡は徳島市国府町で行われてきた環状線関係の調査で，池尻桜間遺跡の北に位置する。中世以降の水田遺構が確認された。これまで阿波国府近郊の敷地遺跡・池尻桜間遺跡では，低湿地において 7 ～ 8 世紀に墓域から水田耕作地への転換が行われる事例が確認されている。継続して行われる調査において古代以降の土地開発の過程について新知見が得られる見込みである。

黒谷川郡頭遺跡（板野町）は平成 23・24 年度に続いて，深瀬遺跡（阿南市）は平成 22・24 年度に続いての調査である。黒谷川郡頭遺跡は黒谷川の北岸の調査地点であるが，過去の黒谷川の河道内および南岸での過去の調査と比較しても住居が密集していることが判明し，県下で最大規模の弥生時代集落であることを確認した。（藤川）

調査事業一覧

外部委託事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	田浦遺跡	小松島市田浦町字妙蓮	605㎡ （調査面積） 1,210㎡ （のべ面積）	H26.4.1 ～ H26.7.31	○弥生時代 ◎奈良時代 ◎平安時代 ○鎌倉時代	掘建柱建物，土坑，溝，小穴，不明遺構	弥生土器，土師器，須恵器，瓦器，陶磁器，土製品，石器，石製品，金属製品，獣骨
2	新居見遺跡	小松島市新居見町山路他	3,051㎡ （調査面積） 3,051㎡ （のべ面積）	H26.8.1 ～ H27.3.31	◎鎌倉時代 ◎室町時代	掘建柱建物，土坑，溝，井戸，小穴，不明遺構	土師器，須恵器，瓦器，陶磁器，土製品，石製品，金属製品，木製品，獣骨
3	深瀬遺跡	阿南市深瀬町岡崎他	60㎡ （調査面積） 120㎡ （のべ面積）	H26.4.1 ～ H26.5.31	◎縄文時代	自然流路，集石遺構	縄文土器，石器
4	黒谷川郡頭遺跡	板野郡板野町大寺字山田畑	35㎡ （調査面積） 105㎡ （のべ面積）	H26.6.1 ～ H26.7.31	◎弥生時代 ◎古墳時代 ○平安時代	溝	弥生土器，土師器，須恵器，瓦

県事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
5	川原田遺跡	徳島市国府町西野字川原田他	1,800㎡ （調査面積） 7,200㎡ （のべ面積）	H26.8.1 ～ H27.3.31	○平安時代 ○鎌倉時代 ○室町時代	水田遺構	土師器，須恵器，獣骨

発掘調査地点位置図

田 浦 遺 跡

所 在 地　小松島市田浦町字妙連
調査期間　平成26年4月1日～平成26年7月31日
担 当 者　島田　市村

1　調査地の位置（徳島・阿波富岡）

調査概要　田浦遺跡は，勝浦川右岸平野部に形成された標高 3.4 m前後の微高地上に営まれた，弥生後期・古墳時代中期・奈良～平安時代・鎌倉時代の複合遺跡である。今回は主に遺跡北端部の妙蓮 C1 区について調査を実施した。

調査地が微高地の北端に位置するため，生活面は北に向けて落ち込む。第１・５・６面は水田面である。溝や畦畔は地形に沿って北東－南西主軸をとる。

遺構と遺物　第２面では 60 基超の遺構が確認された。摂津Ｃ型羽釜や緑釉陶器，黒色土器等の出土から平安時代後期（10 ～ 11 世紀）に位置付けられる。

第３面は赤彩土師器や須恵器などの出土から奈良～平安時代前期（８～９世紀）とみられる。検出遺構は 70 余基を数え，一辺約３ｍの小型建物 SA3001 のほか，溝 SD3002 底部で掘削具の痕跡を確認した。第４面では溝２条を確認したにとどまる。

第７包含層では明瞭な遺構は確認できなかったものの，後期の弥生土器が数多く出土し，７ヶ所の土器溜まりを検出した。

ま と め　今次調査では，微高地縁辺部における土地利用の様相について知見が得られたのは貴重な成果と言えよう。とくに第２・３面で建物等の遺構が確認されたことから，少なくとも古代段階では，ここまで集落域が拡がっていたことが確認できた。また弥生時代では，既往の調査と同様に土器は数多く出土するものの，明瞭な遺構を伴わない。付近の地形からみて，集落域は西側の微高地上に存在すると推測される。（島田）

2　第３面検出状況

3　SD3002 底部掘削具痕

4　第７包含層土器溜まり

新 居 見 遺 跡

所 在 地　小松島市新居見町山路他
調査期間　平成26年8月1日～平成27年3月31日
担 当 者　島田　山下　市村

1　調査地の位置（阿波富岡）

調査概要　本遺跡は勝浦川右岸平野部に位置し，北を神田瀬川，南を田野山地に挟まれた南北200 mに展開する。これまで県下初出土となる縄文時代晩期の土偶や，古墳～飛鳥時代の墳墓群，平安～鎌倉時代と室町時代の集落を確認している。

遺構と遺物　今次調査では室町時代後期の屋敷地1区画を新たに確認した。屋敷地周囲をめぐる区画溝は幅0.5～4 m，深さ0.4 mで，東西26 m，南北29 mの不整な隅丸方形状の屋敷地区画を作る。溝は非常に浅いため防御や利水ではなく区画のみを目的にしたものと言える。東側区画溝の中央北寄りには出入口とみられる突出部が認められる。区画内外では掘立柱建物7棟のほか，ピットや土坑など約1,500基が密集して検出された。遺物では貿易陶磁器や瀬戸焼・備前焼等の国産陶磁器など豊富な搬入品が出土した。貿易陶磁器には青磁盤や蓋，瀬戸焼では鉄釉茶入や天目碗といった奢侈品が含まれる。完形の茶入は勝瑞城下に続いて県下2例目となる。

2　茶入出土状況

まとめ　屋敷地は今回の発見により計8区画となり，小規模な方形区画屋敷地が集合する集落景観が復元できる。ここでは喫茶関連遺物や，『福富草子』等の絵巻にも富の象徴として描かれている青磁盤など，ステイタスを示す奢侈品が出土している。これら小規模屋敷地群の経営主体は，在地領主の下位に位置する名主層が想定される。また豊富な搬入品がもたらされた背景には，本遺跡が物流の動脈である勝浦川や神田瀬川，中世港湾である小松島津に近接した位置にあったことが大きいと考えられる。（島田）

3　屋敷地遺構配置図

深 瀬 遺 跡

所 在 地　阿南市深瀬町岡崎他
調査期間　平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日
担 当 者　栗林　山下

調査概要　深瀬遺跡は那賀川の中流左岸，標高約 25m の河岸段丘上に立地しており，調査区のある段丘は東を流れる那賀川と西の岡崎川に挟まれた狭小な尾根の麓から川下へ緩斜面を形成しながら延びている。これまで 3 回の調査（平成 22・24・25 年度）が行われており，縄文時代～鎌倉時代にいたる複数の遺構面が確認されている。今年度の調査区は平成 25 年度調査区の北端に接しており，縄文時代中期～前期にかけての遺構面が 3 枚検出された。

遺構と遺物　主な遺構は第 1 面からは東西方向に流れる自然流路が 1 条（SR4001）検出されており，石鏃，石匙，磨製石斧などが出土している。土器は鷹島式が主体となっている。第 2 面では那賀川本流の堆積物によって形成されたと考えられる自然流路（SR5001）が検出されている。土器は大歳山式が確認されている。最下層の第 3 面では集石遺構（SU6001）が検出されている。人頭大の砂岩礫が弧状に配されており，上面の覆土には土器類とともに炭化物粒が多く含まれていた。第 2 面と同様に大歳山式土器が出土している。

ま と め　今回の調査により深瀬遺跡の北限部分の状況を確認することができた。深瀬遺跡は那賀川の河岸段丘の小尾根に接して形成された埋没自然堤防を基盤とし，支流の岡崎川からの堆積物による微高地上を中心として，縄文時代前期末以降から生活が営まれていたものと考えられる。（栗林）

1　調査地の位置（阿波富岡）

2　SR4001 遺物出土状況

3　SR5001 内遺物出土状況

4　SU6001 検出状況

黒谷川郡頭遺跡

所在地　板野郡板野町大寺字山田畑
調査期間　平成26年6月1日～平成26年7月31日
担当者　栗林　山下

1　調査地の位置（川島）

調査概要　黒谷川郡頭遺跡は旧吉野川低湿デルタに形成された標高約3.8mの微高地上に立地している。1980年代に行われた河川改修に伴う調査では，弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての竪穴住居跡21軒・掘立柱建物跡12軒などが，東西500mの調査区域全体で検出されている。今年度の調査区は平成23年度と24年度の調査区の中間地点となる連結部分であり，奈良・平安時代を中心とした遺構面と弥生時代後期～古墳時代前期を中心とした遺構面がそれぞれ検出されている。

遺構と遺物　第1遺構面の溝（SD1001）は南北方向に延びており，遺構覆土内からは須恵器や丸瓦等が出土している。第4遺構面において検出された溝（SD4001）は幅2.2m，深さ1.2mを測り，断面形状はV字形を呈する。最下層には砂が堆積しており，中層の粘質土層内からは弥生時代後期後半～古墳時代初頭にかけての遺物が出土している。鮎喰川流域において製作された東阿波型土器の二重口縁壺等と共に布留系二重口縁壺，西部瀬戸内系の大型複合口縁壺，山陰系二重口縁壺，下川津B類土器の甕等の時期差が認められる搬入土器が出土しているため，一定期間保有された後に溝内に投棄された可能性が考えられる。

まとめ　古代に属する遺構面では緑釉陶器や丸瓦等が出土していることから，官衙や寺院の存在が推定できる。弥生時代後期～古墳時代初頭の遺構面では溝を中心とした遺構が存在しており，集落の空閑地もしくは縁辺部に該当するものと考えられる。

（栗林）

2　SD4001 土層断面

3　SD4001 遺物出土状況①

4　SD4001 遺物出土状況②

川原田遺跡

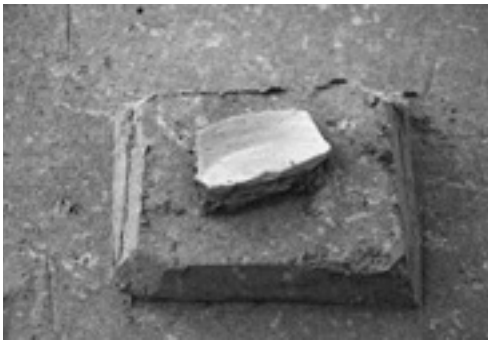
所在地　徳島市国府町川原田字西野他
調査期間　平成26年8月1日～平成27年3月31日
担当者　栗林　岡田　山下

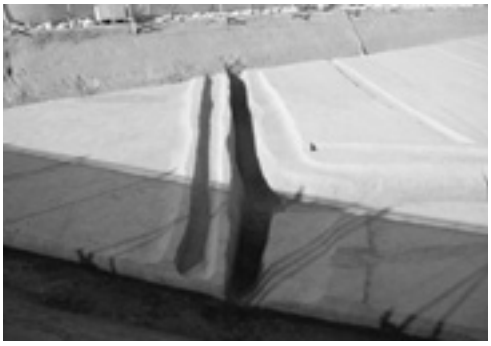
調査概要　川原田遺跡は鮎喰川と吉野川に挟まれた標高約5mの沖積地に位置している。調査区の西側には飯尾川が北流し，途中で向きを変えて東へと流れている。南側は古代～中世にかけての集落や水田域が拡がる池尻・桜間遺跡に接し，また北側に近接する西黒田付近は8世紀に設置された東大寺領新島庄大豆処に比定されている。

遺構と遺物　遺構面は計5枚検出されており，いずれも水田を中心としている。第1遺構面からは東西方向の灌漑水路が検出された。出土遺物から時期は16世紀後半～17世紀初頭と考えられる。第2，3遺構面の水田においても第1遺構面と同様の東西方向の灌漑水路が検出されるとともに，南北方向の排水路も確認された。出土遺物から第2遺構面は16世紀前半，第3遺構面は14世紀代と推定される。第4遺構面の水田は洪水砂によって覆われているが，上面の灌漑水路とほぼ同様な施設が見られることから，埋没後比較的短期間で，復旧・再開発が行われたと考えられる。時期は13世紀代と推定される。第5遺構面は水田開発の初期にあたり，時期は出土した遺物から10世紀後半頃と考えられる。

まとめ　今回の調査で川原田遺跡においては10世紀以降の水田開発の様子が確認されたが，8世紀代に成立したとされる新島庄に関連するような年代の遺構は確認できなかった。このことは周辺の敷地遺跡や池尻・桜間遺跡等の所在する鮎喰川の扇状地に比べると，川原田遺跡の立地している微高地が飯尾川の河川活動の影響で，より不安定な環境下であったために水田開発が遅れた可能性が考えられる。（栗林）

1　調査地の位置（川島）


2　第2遺構面遺物出土状況


3　第3遺構面灌漑水路

4　第3遺構面完掘状況

Ⅳ 整理事業報告

徳島県からの委託を受け，次の 6 事業 6 遺跡の出土品整理業務を実施した。

川西遺跡　接合作業

深瀬遺跡　レイアウト作業

徳島城下町遺跡　実測作業

清成遺跡　接合作業

出土品整理業務一覧

事業名	遺跡名	所在地	整理期間	担当者名	整理概要	備　考
平成 26 年度一般国道 192 号徳島南環状道路（川西地区）関連埋蔵文化財整理業務	川西遺跡	徳島市上八万町	H26.4.1 ～ H27.3.31	近藤	遺物洗浄，注記，接合，復元，遺物実測，観察表入力，トレース図作成，遺物写真撮影等	
平成 26 年度那賀川河川改修事業（深瀬堤防）に伴う埋蔵文化財整理業務	深瀬遺跡	阿南市深瀬町	H26.6.1 ～ H27.3.31	原	洗浄，注記，接合，復元，遺物実測，観察表作成，原稿執筆，トレース図作成，図版レイアウト，遺物写真撮影等	
平成 26 年度徳島地家簡裁庁舎敷地埋蔵文化財出土品整理業務	徳島城下町跡	徳島市徳島町	H26.4.1 ～ H27.3.31	大北，氏家	洗浄，注記，接合，復元，遺物実測，トレース図作成，写真撮影，遺物観察表作成等	
平成 26 年度四国間横断自動車道（徳島～鳴門）関連埋蔵文化財整理業務	大松遺跡	徳島市川内町	H26.4.1 ～ H26.8.31	氏家	遺物実測，トレース，図版作成，観察表作成，編集レイアウト，原稿執筆等	報告書 300 部刊行と発送
平成 26 年度緊急地方道路整備事業（主要地方道鳴門池田線）関連埋蔵文化財整理業務	拝東遺跡	美馬市脇町	H26.4.1 ～ H26.5.31	原	遺物実測，観察表作成，トレース図作成	
平成 26 年度徳島県農林水産総合技術支援センター整備運営事業に係る埋蔵文化財整理業務	清成遺跡	名西郡石井町	H26.4.1 ～ H27.3.31	田川，市村	洗浄，注記，接合，復元，遺物実測，観察表作成，トレース図作成等	

Ⅴ 普及事業報告

平成 26 年度の普及事業は，埋蔵文化財の保護・活用と普及啓発を目的とし，指定管理者としての自主事業を中心に，従来の業務も継承しながら，更なる充実のための創意工夫を加えて実施した。

1　管理運営業務

収蔵庫資料整理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて，県内の埋蔵文化財の保存・活用が一層図られることを目的とし，遺物保存処理，収蔵庫内の資料保管，検索システムの構築，図書受納等の業務を行った。

・受贈図書数　1,140 冊

2　徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として，管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進，サービス向上，コスト削減，施設の適正な維持管理，地域への貢献・連携，安全管理，環境への配慮）に沿って，適切な管理運営業務を実施した。

(1) 対象施設の利用状況

・期間　平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

・来所者数 6,861 人

(2) 自主事業の実施状況

テーマを設定し，企画展を 3 回実施した。

①『アワコウコ楽の逸品』展示

第 1 回　『深瀬遺跡と独鈷石』

・実施期間　平成 26 年 4 月 1 日（火）～ 5 月 25 日（日）

・来所者数　923 人

第 2 回　『矢野銅鐸特別展示』

・実施期間　平成 26 年 5 月 27 日（火）～ 6 月 8 日（日）

・来所者数　492 人

第 3 回　『ホネとお墓』

・実施期間　平成 26 年 7 月 29 日（火）～ 8 月 31 日（日）

・来所者数 1,077 人

第 4 回　『南蔵本遺跡調査成果』

・実施期間　平成 26 年 9 月 30 日（火）～ 11 月 3 日（月）

・来所者数 954 人

第 5 回　『徳島城下町のオモチャ箱』

・実施期間　平成 26 年 11 月 18 日（火）～ 12 月 21 日（日）

・来所者数 336 人

②『アワコウコ楽デリバリー』

第 1 回　徳島県庁県民広場展示『アワ古代文化がここにある』

・実施期間　平成 26 年 5 月 12 日（月）～ 6 月 19 日（木）

・初日見学者数　130 人

徳島県庁県民広場展示風景

第 2 回　鳴門市ドイツ館展示『鳴門市大麻町桧周辺の遺跡案内』

・実施日　平成 26 年 9 月 20 日（土）～ 10 月 5 日（日）

・閲覧者数　1,144 人

・展示解説実施日　平成 26 年 9 月 27 日（土）藤川事業課長

・参加者数　33 人

第 3 回　徳島県庁県民広場　『発掘された白磁・青磁』

・実施期間　平成 26 年 11 月 23 日（日）～ 12 月 26 日（金）

③第 6 回四国地区埋蔵文化財センター巡回展『続・発掘へんろ―四国の近世―』

四国各県の近世の遺跡から出土した遺物の内，代表的なものを選出して企画展示を行った。

・実施期間 平成 27 年 1 月 13 日（火）～ 3 月 15 日（日）

・来所者数 927 人

関連行事　おもしろ古代体験『ドロメンコをつくろう』

・実施日　平成 27 年 2 月 1 日（日）

・参加者数　45 人

ドロメンコをつくろう作業風景

④古代体験まつり

古代体験を 1 日でたくさんできるイベントとして実施した。

実施内容　銅鏡・銅鐸，ガラス勾玉，トンボ玉，麦種まき，缶バッジ，組紐，古代衣装試着，まいぶんスケッチコンクール，古代米ポン菓子

・実施日　平成 26 年 10 月 26 日（日）

・来所者数 204 人

⑤おもしろ古代体験（不定期開催）

勾玉 58 人，ガラス玉 5 人，銅鏡 5 人，銅鐸 7 人，組紐 36 人，その他 29 人

・参加者数　138 人

⑥夏休みおもしろ古代体験　　夏休み特別企画として，児童・生徒対象に古代体験を実施した。

・実施日

『ガラス玉をつくろう』　平成 26 年 7 月 24 日（木）～ 25 日（金）(39 人)

『勾玉をつくろう』　平成 26 年 7 月 31 日（木）・8 月 1 日（金）

平成 26 年 8 月 12 日（火）～ 17 日（日）(255 人)

『銅鐸をつくろう』　平成 26 年 8 月 6 日（水）～ 8 日（金）(30 人)

『銅鏡をつくろう』　平成 26 年 8 月 6 日（水）～ 8 日（金）(35 人)

『草木染をしよう』　平成 26 年 8 月 18 日（月）(12 人)

『トンボ玉をつくろう』　平成 26 年 8 月 29 日（金）(10 人)

・参加者数　381 人

ガラス玉をつくろう作業風景（飯泉徳島県知事）

⑦まいぶんスケッチコンクール

受付係が中心となって，展示室にある遺物を題材として色鉛筆で絵を描くイベントを実施した。実施後，優秀作品を選定し，古代体験まつり開催日に表彰を行った。作品はエントランスに展示し，HP 上で公開した。

・実施期間　　夏季　平成 26 年 7 月～ 8 月

・参加者数　105 人

⑧土曜考古学専門講座　　全 6 回

テーマ『未知の阿波考古学－新たな発掘調査成果・研究成果より－』

『深瀬遺跡と独鈷石』　原専門研究員　(5/24) 35 人
『出土木簡の調査と保存』　植地専門研究員 (6/21) 44 人
『勾玉最前線』　菅原専務理事　(8/23) 29 人
『南蔵本遺跡の調査成果から』　近藤専門研究員 (10/4) 22 人
『中世から近世へ』　島田主任研究員 (11/8) 24 人
『徳島城下町跡』　大北専門研究員 (12/6) 16 人
・受講者数　170 人

⑨アワコウコ楽公開講座
（ア）　前期講座　『2014 発掘とくしま』関連講座
平成 26 年 7 月 13 日（日）
講演『城下町徳島　お役所成立事情』
講師　根津　寿夫　氏（徳島市立徳島城博物館　係長・学芸員）
・受講者数　106 人
上記の講座は，公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが専門的立場から提案を行い，徳島県教育委員会と共催した。

（イ）　後期講座　『続・発掘へんろ－四国の近世－』関連講座
第 1 回　　平成 27 年 2 月 8 日 (日)
調査成果報告会『四国の城下』
・受講者数　36 人
第 2 回　　平成 27 年 2 月 22 日（日）
講演Ⅰ『日本出土のマジョリカ陶器について』
講師　松本　啓子　氏（公益財団法人大阪市博物館協会　大阪文化財研究所）
講演Ⅱ『四国地方における近世城下町の動物資源利用』
講師　石丸　恵利子　氏（広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門）
・受講者数　35 人

⑩アワコウコ学ボランティア倶楽部
（ア）　万葉の植物を楽しむプロジェクト・・・古代ハスの栽培や万葉集研究を行った。
（イ）　古代ものづくりプロジェクト・・・・・草木染めを研究し，イベントを開催した。
（ウ）　遺跡案内人プロジェクト・・・・・・・近世の遺跡について研究し，現地ガイドを行った。
・実施回数 実習・全体会あわせて　72 回
・参加者数 のべ　204 人

⑪阿波徳島　三城巡り（一宮城跡・徳島城下町跡・勝瑞城館跡）
県内の近世遺跡を見学し，遺跡案内人プロジェクトのメンバーが現地案内を行った。

・実施日　平成 27 年 3 月 8 日（日）

・参加者数　45　人

阿波徳島三城巡り見学風景

(3) 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理

・アクセス数 23,493

(4) 団体来所対応　　45 団体　　1,624 人

	月	団体名	人数	見学	勾玉作り	その他
1	4 月	阿波探索ツアー古事記古々道	20	20		
2		トンボの眼	19	19		
3	5 月	徳島市内町小学校	38	38	38	火おこし
4		鳴門市北灘西小学校	15	15	15	火おこし
5		大阪大学考古学教室	22	22		
6		鳴門市撫養小学校	52	52		火おこし
7		徳島市南井上小学校	73	73		
8		咲くらデイサービス	30	30		
9		板野町教育委員会（ふるさと巡回バス）	14	14		
10		八万南小学校	91	91	91	
11	6 月	板野西小学校 3 年	22	22		
12		板野東小学校	85	85		
13		板野西小学校 6 年	18	18	18	
14		吉野川市立学島小学校	28	28	28	火おこし
15		鳴門市大代長寿高齢者学級	16	16		
16	7 月	牛島公民館	18	18		
17		農協観光　大阪支店	31	31		
18		富岡東中学校	85	85	85	
19		板野中学校①	63	63	63	
20		板野中学校②	62	62	62	
21		板野郡支援中学校	71	71		
22		山の上子供会	22		22	
23		藍住西小学校	7	7	7	火おこし
24		藍住南小学校	14	14	14	
25		川島中学校	59	59		
26	8 月	名鉄観光　徳島市母子連合会	54	55		
27	9 月	クラブツーリズム	15	15		
28		岡山県　吉備歴史文化会	13	13		

	月	団体名	人数	見学	勾玉作り	その他
29	10 月	板野南小学校	40	40	40	火おこし
30		八万小学校	107	107		
31		北島北小学校	51	51	51	
32		板野教育委員会巡回バス	20	20		
33		鳴門高校（国際交流）	16	16		
34		板野町ボランティア連絡協議会	14	14		草木染
35		桑島小学校	44	44	44	
36		上浦小学校	39	39	39	火おこし
37		板野郡退職校長会	22	22	22	火おこし
38	11 月	国際交流ドイツ（城北高校）	10	10	10	
39		大俣小学校	23	23	23	
40		阿波市八幡小学校	20	20	20	
41	12 月	清水小学校	16	16	16	火おこし
42	2 月	加茂名小学校 6 年	82	82		
43		辻小学校・井内小学校合同	22	22	22	
44	3 月	民族文化研究院	16	16		
45		板野町ふるさと巡行バス	25	25		
合　計			1,624	1,602	730	

3　『徳島の古 再発見事業』の実施

埋蔵文化財速報展『2014 発掘とくしま』

平成 25 年度に発掘した遺跡からの主要な出土品を展示し，その調査成果をいち早く県民に紹介するとともに，各種関連行事も実施し，郷土の歴史に対する理解と認識，文化財保護意識の向上に努めた。

・実施期間　　平成 26 年 6 月 10 日（火）～ 7 月 20 日（日）

・実施場所　　徳島県立埋蔵文化財総合センター

・速報展示　　新居見遺跡（小松島市）・田浦遺跡（小松島市）・深瀬遺跡（阿南市）
広田遺跡（徳島市）・佃遺跡（三好市）・徳島城下町跡　徳島町 1 丁目地点（徳島市）

・関連行事

①調査成果報告会　平成 26 年 6 月 29 日（日）

報告　新居見遺跡（田川専門研究員）・田浦遺跡（島田主任研究員）・深瀬遺跡（原専門研究員）

・参加者数　67　人

②調査成果報告会・講演

報告　徳島城下町跡　徳島町 1 丁目地点（栗林専門研究員）

講演　『城下町徳島　お役所成立事情』

講師　根津　寿夫　氏（徳島市立徳島城博物館　係長・学芸員）

・参加者数　106 人

③ おもしろ古代体験『木簡をつくろう』

・実施日　平成 26 年 7 月 6 日（日）

・参加者数　70 人

4　その他の普及事業

(1) 埋文 WEB の管理運営

現地説明会の案内・各種イベント案内・発掘作業員などの募集案内や公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの活動内容全般を掲載した。

・アクセス数　20,745

(2)　埋蔵文化財センター年報の刊行

・埋蔵文化財センター年報 Vol.25　500 部

(3) 各種研修の受け入れ

①徳島県教育委員会　教職員初任者研修会

県教委教職員研修課主催の初任者研修の一環として，社会･自然体験（郷土を知る）研修を行った。

・期日 平成 26 年 8 月 5 日（火），6 日（水），20 日（水），21 日（木）

・研修内容 講義『埋蔵文化財について』『埋蔵文化財センターの業務』

整理業務・収蔵庫の施設見学，常設展・企画展見学，普及活動体験

講義『埋蔵文化財センターの活用方法』

・参加者数 7 人

②徳島県教育委員会　社会科主任研修会

徳島県立総合教育センター主催で，社会科担当教員を対象として郷土について学ぶ研修を行った。

・期日　平成 26 年 8 月 8 日（金），8 月 20 日（水）

・研修内容　講義『徳島県内の遺跡』・実習『古代体験の教育的意義』

・参加者数　11 人

③職場体験

中学生（板野中学校・城ノ内中学校）の進路指導の一環として職場体験を行った。

・期日 平成 26 年 11 月 18 日（火）～ 21 日（金）

・研修内容　発掘調査業務（新居見遺跡）・普及業務体験（県立埋蔵文化財総合センター）

・参加者数 板野中学校 6 人　城ノ内中学校 6 人

職業体験作業風景

④高校生インターンシップ

高校生（板野高校）の進路指導の一環としてインターンシップを行った。

・期日 平成 27 年 1 月 27 日（火）・28 日（水）

・研修内容　普及業務体験（県立埋蔵文化財総合センター）

・参加者数 6 人

(4) 職員の対外活動

No.	期　日	内　容	参加者
1	4 月 1 日～ 3 月 31 日	石井町文化財保護審議会委員の委嘱	菅原
2	4 月 1 日～ 3 月 31 日	阿波市文化財保護審議会委員の委嘱	大北
3	4 月 1 日～ 3 月 31 日	文化庁埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会に関する協力者の委嘱	菅原
4	4 月 1 日～ 3 月 31 日	小松島市文化財保護審議会委員の委嘱	藤川
5	4 月 23 日～ 24 日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」展示設営と実行委員会への出席 （愛媛県松山市・松山市考古館）	近藤・大北
6	4 月 28 日	第 1 回あわ文化教育体系化検討委員会への出席 （徳島県庁）	福家
7	5 月 9 日	ふる里の歴史を学ぶ会への講師 （石井中央公民館）	菅原
8	5 月 15 日～ 16 日	第 35 回全国埋蔵文化財法人連絡協議会役員会への出席 （富山県富山市）	菅原・藤川
9	6 月 11 日・18 日	徳島県シルバー大学校大学院への講師 （徳島県立総合福祉センター）	福家
10	6 月 12 日	ふる里の歴史を学ぶ会への講師 （石井中央公民館）	福家
11	6 月 19 日～ 20 日	第 35 回全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会への出席 （岩手県盛岡市）	福家・漆川
12	6 月 26 日～ 27 日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」実行委員会への出席 （高知県南国市・高知県立埋蔵文化財センター）	植地・大北
13	7 月 24 日	小松島のふるさと講座への講師 （生涯学習センター小松島市立図書館）	島田
14	7 月 24 日～ 3 月 31 日	阿波遍路道・札所寺院保存検討委員会委員の委嘱	菅原
15	9 月 6 日	徳島県南地域四市町合同「長の国の考古学　中世 in 牟岐」への講師 （牟岐町海の総合文化センター）	福家
16	9 月 11 日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」実行委員会への出席 （香川県坂出市・香川県埋蔵文化財センター）	植地・大北
17	9 月 20 日	徳島県南地域四市町合同「長の国の考古学　古墳 in 小松島」への講師 （小松島市立図書館）	藤川
18	9 月 27 日	徳島県南地域四市町合同「長の国の考古学　弥生 in 海陽」への講師 （海陽町立博物館）	菅原
19	10 月 2 日～ 3 日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議への出席 （鹿児島県霧島市）	漆川・藤川
20	11 月 2 日	徳島市立考古資料館連続講座への講師 （徳島市立考古資料館）	藤川
21	11 月 27 日～ 28 日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会への出席 （奈良県奈良市・元興寺文化財研究所）	氏家
22	12 月 13 日	平成 26 年度「阿波遍路道がつなぐ地域文化財総合活用事業」講演会『田井遺跡の縄文人』への講師 （海陽町立博物館）	大橋
23	1 月 29 日	平成 26 年度文化財担当者専門研修出土文字資料調査課程の講師 （奈良県奈良市・独立行政法人文化財機構奈良文化財研究所）	藤川
24	1 月 30 日	第 7 回木簡ワークショップへの出席 （奈良県奈良市・独立行政法人文化財機構奈良文化財研究所）	藤川
25	3 月 8 日	平成 26 年度冬期企画展「徳島市の遺跡－矢野遺跡－」記念講演会への講師 （徳島市立考古館）	菅原
26	3 月 18 日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」実行委員会への出席 （徳島県板野町・徳島県立埋蔵文化財総合センター）	植地・大北

(5) 発掘現場における普及事業

平成 26 年度の発掘調査中の遺跡等の調査成果を現地で広く県民に公開した。

遺跡　新居見遺跡　1 件（参加者 120 名）

新居見遺跡現地説明会風景

(6) 考古資料の活用　64 回

	申請様式	資料名称等	点数	申請者	利用目的等
1	出版物掲載	カネガ谷遺跡出土鏡モノクロ写真データ	1	株式会社雄山閣 宮田哲男	『季刊考古学』127 号特集「新世代の弥生時代研究」に掲載するため
2	実見	萩原 1 号墓出土画文帯同向式神獣鏡等	6	トンボの眼 代表　佐々木章	出土遺物を見学することにより , 古代阿波の理解を深めるため
3	貸出・撮影	新居見遺跡出土土偶等	16	小松島市教育委員会 教育長　槇野和幸	平成 26 年度新居見遺跡・田浦遺跡埋蔵文化財発掘調査出土遺物展での展示及び配付資料作成等のため
4	出版物掲載	観音寺遺跡出土 69 号木簡写真データ	1	大阪歴史博物館 館長　栄原永遠男	大阪市歴史博物館特別展「大阪遺産難波宮：遺跡を読み解くキーワード」におけるパネル展示及び図録掲載
5	貸出・出版物掲載	庄（庄・蔵本）遺跡出土打製石庖丁等	17	徳島市教育委員会教育長　石井　博 徳島市考古資料館長　山口英二	平成 26 年度企画展「とくしま稲作事始め」において展示及び図録掲載
6	実見・撮影	荒川遺跡出土・貞光前田遺跡出土縄文土器等	1,030	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター　中野良一	土器に含まれる鉱物データ集積のため
7	出版物掲載	観音寺遺跡出土 69 号木簡写真データ	1	大阪大学大学院 准教授　市　大樹	『飛鳥の木簡』韓国語版に掲載するため
8	撮影・出版物掲載	立善寺跡遺跡出土軒丸瓦等	17	徳島県立博物館 岡本和代	阿波における古代瓦の研究
9	出版物掲載	観音寺遺跡出土 4 号, 149 号, 187 号木簡写真データ	3	徳島県立博物館 岡本和代	徳島新聞夕刊子ども新聞に掲載するため
10	出版物掲載	大代古墳及び副葬品写真データ	8	大津中央公民館 館長　矢金　満	鳴門市高齢者学級で大代古墳と大代歴史文化遺産保存会の取り組みを発表するため
11	実見・撮影	円通寺遺跡出土褐釉陶器四耳壺	1	東みよし町教育委員会 教育長　川原良正	レプリカ作成に係る事前調査のため
12	実見・撮影		1,502	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター　中野良一	土器に含まれる鉱物データ集積のため
13	出版物掲載	『敷地遺跡 II』（センター概報第 4 集）掲載木簡写真	8	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター　藤川智之	『木簡研究』第 36 号掲載のため
14	実見・撮影	宮ノ本遺跡出土弥生土器甕, 矢野遺跡出土弥生土器甕	9	高知大学 西垣克哉	卒業論文執筆に係る研究のため
15	出版物掲載	観音寺遺跡出土 77 号木簡写真データ	1	株式会社大月書店 代表取締役　中川　進	『大陸文化の摂取』の資料として掲載するため
16	実見・撮影	新居見遺跡・田浦遺跡・前山遺跡・宮ノ本遺跡・トノ町遺跡出土品等	110	小松島市教育委員会生涯学習課長 中島彦一郎	『長国の埋蔵文化財企画展』における展示品候補の事前調査
17	実見・撮影	柿谷遺跡・山田古墳群 A・庄遺跡 I 出土馬具等	15	徳島市教育委員会教育長　石井　博 徳島市考古資料館長　山口英二	平成 26 年度特別企画展『馬、かける』における事前調査のため
18	出版物掲載・貸出	柿谷遺跡・山田古墳群 A・庄遺跡 I 出土馬具等	60	徳島市教育委員会教育長　石井　博 徳島市考古資料館長　山口英二	平成 26 年度特別企画展『馬、かける』における展示のため
19	その他（放送）	矢野遺跡出土銅鐸埋納状況写真データ	1	株式会社ネクサス 代表取締役　池谷誠一	テレビ東京『開運！なんでも鑑定団』8 月 19 日 20:54 ～ 21:53 において放送するため
20	出版物掲載	中島田遺跡出土石鍋写真データ	1	糸魚川市教育委員会 教育長　竹田正光	企画展『青海の歴史～親不知と寺地遺跡を中心として～』において掲載するため
21	実見	名東遺跡出土弥生土器壺, 甕, 高杯, 石器	7	中西弥生	夏休みの自由研究

	申請様式	資料名称等	点数	申請者	利用目的等
22	実見	蛭子瓦窯跡出土瓦	1,600	阿波市教育委員会 坂東英司	南明山補陀寺（阿波安国寺）跡出土瓦との比較検討
23	実見・撮影	矢野遺跡出土縄文土器	1,070	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター　中野良一	土器に含まれる鉱物データ集積のため
24	出版物掲載・貸出	新居見遺跡出土須恵器杯等	21	小松島市教育委員会 教育長　槇野和幸	県南 4 市町村合同企画展『長国の埋蔵文化財古墳時代 in 小松島』での展示及び配付資料作成のため
25	出版物掲載・貸出	宮ノ本遺跡出土石斧，石庖丁，土器	22	海陽町立博物館 館長　岡田　啓	南 4 市町村合同企画展『長国の埋蔵文化財弥生時代 in 海陽』での展示及び配付資料作成のため
26	出版物掲載・貸出	新居見遺跡出土水注，大観通寶，青磁碗，一石五輪塔	23	牟岐町教育委員会 教育長　峯野高明	県南 4 市町村合同企画展『長国の埋蔵文化財中世 in 牟岐』での展示及び配付資料作成のため
27	貸出	柿谷遺跡出土馬具等	36	徳島市教育委員会教育長　石井　博 徳島市シルバー人材センター理事長　森本　勝	平成 26 年度特別企画展『馬、かける』における展示のため
28	出版物掲載	柿谷遺跡出土馬具写真データ	24	徳島市教育委員会教育長　石井　博 徳島市シルバー人材センター理事長　森本　勝	平成 26 年度特別企画展『馬、かける』における出版物作成のため
29	実見・撮影・その他	南蔵本遺跡出土土器	264	徳島大学総合科学部 准教授　中村　豊	土器表面の種子圧痕を調査する「レプリカ法」研究のため
30	出版物掲載・貸出	観音寺遺跡出土 77 号木簡レプリカ , 写真データ	3	国立歴史民俗博物館 館長　久留島　浩	平成 26 年度国際企画展示『文字がつなぐ-古代の日本列島と朝鮮半島-』展示及び図録・パネルの作成
31	実見	桑野谷遺跡出土土器等	100	徳島県教育委員会教育文化政策課　主査兼係長　早渕隆人	県南 4 市町村合同企画展『長国の埋蔵文化財弥生時代 in 海陽』での展示及び配付資料作成のため
32	出版物掲載・貸出	立江馬渕遺跡出土陶器 立善寺跡遺跡出土瓦等	18	阿南市教育委員会 教育長　新居正秀	県南 4 市町村合同企画展『長国の埋蔵文化財古代 in 阿南』での展示及び配付資料作成のため
33	貸出	カネガ谷遺跡出土銅鏡等 西山谷 2 号墳出土銅鏡等	54	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター理事長　福家清司	アワコウコ楽デリバリー展示 2『鳴門市ドイツ館周辺の遺跡-弥生時代から古墳時代へ-』において展示するため
34	実見・実測・撮影	川端遺跡，菖蒲谷西山 A 遺跡，蓮華池遺跡出土埴輪等	566	香川県埋蔵文化財センター 蔵本晋司	四国における古墳時代中期から後期の埴輪研究
35	出版物掲載	矢野遺跡出土縄文土器写真データ，弥生土器写真データ	6	徳島市小学校社会部会 係校長　佐藤靖彦	徳島市小学校社会科テスト（全県で使用）問題に掲載
36	展示	南蔵本遺跡出土土器，木器，石器	24	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター理事長　福家清司	アワコウコ楽の逸品『南蔵本遺跡』で展示するため
37	実見・撮影	矢野遺跡出土縄文土器	1,310	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター　中野良一	土器に含まれる鉱物データ集積のため
38	実見・撮影	河辺寺跡，敷地遺跡，観音寺遺跡出土瓦	55	徳島県立博物館 岡本和代	阿波における古代瓦の研究
39	実見・撮影	宮ノ本遺跡, 庄･蔵本遺跡, 土井遺跡出土弥生土器甕	203	高知大学 西垣克哉	卒業論文執筆に係る研究のため
40	展示	大柿遺跡出土白磁四耳壺 敷地遺跡出土青磁碗等	3	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター理事長　福家清司	アワコウコ楽デリバリー展示県民ホール展示のため
41	展示	徳島城下町遺跡中前川 2 丁目地点出土泥面子等	57	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター理事長　福家清司	アワコウコ楽の逸品展示のため
42	出版物掲載	大代古墳写真データ	1	株式会社グレイル 代表取締役　須賀　弘	『古墳の地図帳』（仮題）に掲載のため
43	出版物掲載	大代古墳写真データ	1	株式会社ロム・インターナショナル 外山　操	『徳島「地理・地名・地図」の謎』掲載のため
44	実見・撮影・その他レプリカ	南蔵本遺跡出土土器	173	徳島大学総合科学部 准教授　中村　豊	土器表面の種子圧痕を調査する「レプリカ法」研究のため
45	出版物掲載	矢野遺跡写真データ	1	歴史・文化推進協議会 常磐百樹	『四国歴史探訪』掲載のため
46	実見・撮影	大柿遺跡出土縄文土器	871	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター　中野良一	土器に含まれる鉱物データ集積のため
47	実見・撮影・出版物掲載	立善寺跡出土瓦等	56	徳島県立博物館 岡本和代	企画展『瓦から見る古代の阿波』のための事前調査
48	出版物掲載・貸出	田井遺跡出土縄文土器，矢野遺跡出土鉄器，宮ノ本遺跡出土石器等	23	海陽町立博物館 一山　典	企画展『海陽の歴史と文化』に展示するため
49	実見	石井城ノ内遺跡出土石器	1	大阪府教育委員会 西口陽一	学術研究のため
50	出版物掲載	萩原 1 号墓写真データ , 西山谷 2 号墳写真データ	6	公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団理事長　樋田明男	ほるたま考古学セミナー『見えてきた !! 古墳時代の幕開け -東松山市反町遺跡を中心に-』の発表要旨に掲載するため

	申請様式	資料名称等	点数	申請者	利用目的等
51	実見・撮影	田井遺跡出土縄文土器	1,531	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター　中野良一	土器に含まれる鉱物データ集積のため
52	実見	坊僧遺跡 , 日吉谷遺跡 , 金蔵～上井遺跡 , 椎ヶ丸遺跡出土石器	1,314	首都大学東京大学院人文科学研究科准教授　出穂雅実	県内旧石器時代の石器についての製作技術分析
53	貸出	矢野遺跡出土突線袈裟襷文銅鐸 萩原 1 号墓出土画文帯同向式神獣鏡	2	大阪府立弥生文化博物館 総括学芸員　塚本浩司	平成 27 年度特別企画展『卑弥呼 転換期の女王』での展示のため
54	出版物掲載	新居見遺跡出土土偶写真データ	1	小松島市教育委員会 教育長　槇野和幸	小松島市教育委員会報告書第 1 集『新居見遺跡・田浦遺跡』に掲載及び小松島市生涯学習センター郷土資料展示室での展示
55	出版物掲載	庄・蔵本遺跡 , 観音寺遺跡出土弓実測図	4	吉川弘文館 取締役編集部長　一寸木紀夫	津野　仁著『日本古代の軍事武装と系譜』に掲載
56	実見・資料提供	矢野遺跡出土縄文土器	2,043	中央大学文学部 教授　小林謙一	土器付着の炭化物 14 年代測定 20,43 点の内熟覧可能なもの
57	出版物掲載	田井遺跡出土縄文土器写真データ	31	海陽町立博物館 館長　岡田　啓	企画展『海陽の歴史と文化』での配付資料作成のため
58	実見	矢野遺跡出土突線袈裟襷文銅鐸 萩原 1 号墓出土画文帯同向式神獣鏡	3	大阪府立弥生文化博物館 総括学芸員　塚本浩司	平成 27 年度企画展『卑弥呼-女王創出の現象学-』に係る事前調査
59	出版物掲載・貸出	立善寺跡出土瓦 , 観音寺遺跡写真データ等	122	徳島県立博物館 館長　高島芳弘	平成 27 年度企画展『瓦から見る古代の阿波』にける展示及び図録等掲載のため
60	実見・撮影	徳島城下町遺跡新蔵三丁目地点出土水差	1	大阪文化財研究所 松本啓子	大阪城下町出土品との比較研究
61	実見・撮影	田井遺跡出土縄文土器	555	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター　中野良一	土器に含まれる鉱物データ集積のため
62	出版物掲載・貸出	矢野遺跡出土突線袈裟襷文銅鐸 萩原 1 号墓出土画文帯同向式神獣鏡等	10	大阪府立弥生文化博物館 館長　黒崎　直	平成 27 年度企画展『卑弥呼-女王創出の現象学-』の展示及び図録等の作成
63	出版物掲載	観音寺遺跡出土 77 号木簡写真データ	1	株式会社山川出版社 編集長　斉藤幸雄	『歴史と地理 日本史の研究』に掲載のため
64	その他資料提供	矢野遺跡出土縄文土器	22	中央大学文学部 教授　小林謙一	土器付着の炭化物 14 年代測定のため
利用回数		64 回		利用点数	15,047 点

(7) 教材等の貸出　5 回

番	団体名	貸出日	返却日	教材名
1	藍住西小学校	4 月 11 日	4 月 16 日	移動教材セット
2	美馬市教育委員会	4 月 18 日	5 月 16 日	移動教材セット
3	小松島市坂野中学校	5 月 28 日	6 月 9 日	移動教材セット
4	鳴門市第二中学校	7 月 3 日	7 月 11 日	移動教材セット
5	板野東小学校	7 月 23 日	7 月 24 日	火おこし道具 3 セット

(8) 出前授業・体験等の実施　25 回　　907 人

番	種	団体名	人数	実施日	内　　容
1	小	徳島市論田小学校	53	4 月 15 日	移動教材セット・PPT
2	小	吉野川市山瀬小学校	52	4 月 16 日	移動教材セット・PPT・勾玉
3	小	阿南市桑野小学校	24	4 月 27 日	移動教材セット・PPT
4	小	阿南市桑野小学校	24	4 月 28 日	移動教材セット・PPT・勾玉
5	小	石井町高川原小学校	38	4 月 30 日	移動教材セット・PPT・火起こし
6	小	徳島文理小学校	68	5 月 1 日	移動教材セット・PPT・火起こし
7	小	徳島市八万小学校	96	5 月 2 日	移動教材セット・PPT
8	小	吉野川市知恵島小学校	19	5 月 22 日	移動教材セット・PPT・勾玉
9	小	吉野川市森山小学校	17	5 月 14 日	移動教材セット・PPT・勾玉
10	小	石井町高川原小学校	40	6 月 17 日	勾玉
11	小	石井町石井小学校郷土クラブ	10	6 月 18 日	勾玉①
12	小	石井町石井小学校郷土クラブ	10	7 月 9 日	勾玉②
13	小	三好市辻小学校	15	6 月 6 日	移動教材セット・PPT・勾玉

番	種	団体名	人数	実施日	内　　容
14	小	阿南市桑野小学校	24	7 月 18 日	埴輪づくり
15	公	阿南市福祉協議会	30	2 月 21 日	勾玉
16	公	阿南市社会福祉協議会　黒津地町	20	11 月 4 日	勾玉①
17	公	阿南市社会福祉協議会　出来町	20	11 月 10 日	勾玉②
18	小	石井町石井小学校郷土クラブ	10	11 月 5 日	火おこし
19	中	県立川島中学校	60	9 月 22 日	移動教材セット・PPT・勾玉
20	小	板野西小学校	133	10 月 4 日	勾玉
21	小	大津西小学校	35	10 月 5 日	勾玉
22	中	佐那河内中学校	15	11 月 11 日	勾玉
23	小	吉野川市山瀬小学校	42	11 月 26 日	移動教材セット・PP
24	公	大津公民館	12	1 月 25 日	埴輪成形
25	公	大津公民館	40	3 月 15 日	埴輪焼成
合計		25 回	907 人		

（矢野・植地）

徳島県埋蔵文化財センター年報　Vol. 26

ー平成 26（2014）年度ー

発行日　平成27(2015)年5月29日

編集・発行　公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
〒 779-0108　徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番 2
TEL（088）672-4545

HP　http://www.tokushima-maibun.net
E-mail　awapac@tokushima-maibun.net

印　刷　徳島県教育印刷株式会社